

第三十一回 貴族院議事速記録第十六號

大正三年三月十八日(水曜日)

午前十時三分開議

議事日程 第十六號 大正三年三月十八日

午前十時開議

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 第一 耕地整理法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第二 地租條例中改正法律案(衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第三 府縣制中改正法律案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會 |
| 第四 地方學事通則改正法律案(衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第五 治安警察法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第六 農工銀行法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第七 土地收用法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第八 盲人保護法案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

一昨十六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

輸出入植物取締法案

船舶積量測定法案

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル四國鐵道速成ノ請願外十八件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

私立學校及公益法人ノ用地免租ニ關スル法律案特別委員會

委員長 松岡 康毅君 副委員長 子爵前田 利定君

實用新案法中改正法律案特別委員會

委員長 男爵武井 守正君 副委員長 子爵東坊城 德長君

國有土地森林原野下戻法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵奧平 昌恭君 副委員長 子爵青山 幸宜君

從三位勳一等村 田 保君

同日願ニ依リ貴族院議員ヲ免セラル

昨十七日故衆議院議長從三位勳二等長谷場純孝君ノ遺族ヘ左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ衆議院議長從三位勳二等長谷場純孝君ノ溘焉長逝セラレタルヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

戶籍法改正法律案外三件特別委員會 副委員長 松岡 康毅君

委員長 侯爵德川 賴倫君

關稅定率法中改正法律案特別委員會 副委員長 男爵目賀田種太郎君

委員長 伯爵川村 鐵太郎君

郡制廢止法律案特別委員會

委員長 伯爵柳 原 義光君 副委員長 小松原英太郎君

盲人保護法案外一件特別委員會

委員長 伯爵松 浦 厚君 副委員長 子爵實吉 安純君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

登錄稅法中改正法律案可決報告書

相續稅法中改正法律案可決報告書

地方學事通則改正法律案修正報告書

土地收用法中改正法律案可決報告書

盲人保護法案否決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

肺結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關スル法律案

取引所稅法中改正法律案

取引所稅法改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

印紙稅法中改正法律案(衆第二十一號)

印紙稅法中改正法律案(衆第二十二號)

運河法中改正法律案

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

國有土地森林原野下戻法中改正法律案

不動産登記法中改正法律案

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、

耕地整理法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

耕地整理法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正三年三月十四日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長長谷場純孝

耕地整理法中改正法律案

耕地整理法中左ノ通改正ス

第一條中「區劃形質ノ變更」ノ下ニ「湖海ノ埋立、干拓」ヲ加フ

第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス第三條中「關係人ノ同意書」ノ下ニ「竝第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意書」ヲ加フ

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條ノ二 第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ土地ノ所有者又ハ賃貸人ニ移轉ス第七條中「地方長官」ヲ「主務大臣、地方長官」ニ改ム

第九條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ登記所又ハ土地臺帳所管廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合ノ組合長、組合副長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

第十二條中「適用セス」ノ下ニ「埋立地又ハ干拓地ニ付亦同シ」ヲ加フ

第十三條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ地租ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス

同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第四項中「前二項」ヲ「第一項、第二項及第四項」ニ改ム

前二項ノ規定ハ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ第一類地ニ開拓シタル土地、埋立地又ハ干拓地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條 耕地整理ヲ施行スルニ當リ其ノ地區内ノ民有土地總面積ノ五分ノ一以上ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價總額ト之ニ對スル原地價總額トノ差額ノ平均額ヲ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乗シタル額ヲ原地價總額ニ加ヘタルモノヲ以テ前條第一項ノ現地價トス

前項ノ場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事著手ノ年ヨリ二十年以上三十年以内、變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價据置年期ヲ許可シ年期明ノ年ヨリ修正地價ニ依リ其ノ地租ヲ徵收ス但シ開墾シタル土地ニシテ年期明ニ至リ工事完了又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ工事完了迄又ハ二十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

地租ヲ課セサル土地ヲ整理施行地區ニ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ設定シ前條第一項ノ現地價トス

第二項ノ規定ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ原地價ニ依リ算出シタル地租額ヨリ少キ土地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條ノ二 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ノ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ第一類地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立テ若ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓地ニ付テハ五十年以内、其ノ他ノ土地ニ付テハ十年以内ノ耕地整理新開免租年期ヲ許可ス但シ年期明ニ至リ地味成熟セサルトキハ更ニ二十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ年期明ニ至リ其ノ地價ヲ設定シ其ノ年ヨリ地租ヲ徵收ス

第十五條中「又ハ地目ヲ變換シ地價ノ修正アリタル土地」ヲ削リ第一號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ工事完了ノトキニ於テ地價ノ修正又ハ設定當時ノ現況ヨリ第一類地ノ地目ニ變更シタル場合ニ於テハ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタルモノト看做シ第十四條第一項ノ規定ヲ準用ス

第十六條中「第十四條第二項ニ該當スル土地」ヲ「第十四條ニ依リ年期ヲ許可シタル土地」ニ、「第十四條第二項ニ定ムル期間中」ヲ「第十四條ニ依リ年期中」ニ改ム

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ第三十條中「告示スヘシ」ヲ「告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ」ニ改ム

第三十三條 從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制

限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條ニ左ノ二項ヲ加フ

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルトキハ其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ

第七十二條中「解散、合併又ハ地區ノ變更」ヲ「解散又ハ合併」ニ改ム

第七十九條第一項中「組合費又ハ」ヲ「組合費、」ニ改メ「金錢」ノ下ニ「又ハ延滯利息若ハ過怠金」ヲ加フ

第八十八條第一項中「又ハ」ヲ「若ハ」ニ改メ「不服アル者」ノ下ニ「又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約開墾者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者」ヲ加フ

第九十一條ノ二 耕地整理組合ノ組合長、組合副長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價格ヲ追徵ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

マセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第三、府縣制中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

府縣制中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正三年三月十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長長谷場純孝

府縣制中改正法律案

府縣制中左ノ通改正ス

目錄中「第二款歳入出豫算及決算」ノ次ニ「第五章ノ二 府縣組合」ヲ加フ
第五條中「内務大臣ノ許可ヲ得」ヲ削リ第三項ヲ左ノ如ク改ム

議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ内務大臣之ヲ定ム

議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス
第六條中「神官」ノ下ニ「神職」ヲ加ヘ第九項ヲ左ノ如ク改ム

府縣ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選舉權ヲ有セス

第七條○第三項ヲ削ル
○第二項ヲ左ノ如ク改ム

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八條第一項ヲ左ノ如ク改メ第三項ヲ削ル

府縣會議員中關員アルトキハ三箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

第十二條第九項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製シ又ハ之ヲ縦覽ニ供スヘシ

同條第十項中「前項名簿」ヲ「前二項ノ名簿」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ
府縣郡市町村ノ廢置分合境界變更ノ場合ニ於ケル名簿ノ分合ニ關シテハ

命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府縣知事ハ當該選舉區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フヘキ日時ヲ定メ少クとも五日^七日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十五條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

特別ノ事情アル市町村ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ二箇以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設クルコトヲ得

投票所ハ市役所町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理ス

投票所ハ市町村長ニ於テ選舉ノ日ヨリ少クとも五日前ニ之ヲ告示スヘシ
第二項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ヲ適用シ難キトキハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十七條 選舉人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第十八條第三項ヲ左ノ如ク改ム

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經又ハ確定裁決書若ハ判決書ヲ提示シテ投票ヲ爲スヘシ

同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

投票時間内ニ投票所ニ入リタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

同條ニ左ノ二項ヲ加フ

選舉人名簿調製ノ後選舉人其ノ投票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ仍選舉權ヲ有スルトキハ前住所地ノ投票所ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

第三十二條第一項若ハ第三十六條ノ選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條ニ左ノ一號ヲ加フ

六 現ニ府縣會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十九條 府縣會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選舉區ニ配當セラレタル議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第三十條中「選舉ノ效力」ヲ「選舉及當選ノ效力」ニ改ム

第三十一條中「前三項」ヲ「前二項」ニ改メ第四項ヲ削ル

第三十二條中「同年月ナルトキ」ヲ「年齡同シキトキ」ニ改ム

第三十四條中「選舉ノ日ヨリ」ヲ「選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告示ノ日ヨリ」ニ改メ「申立ノ有無ニ拘ラス」ノ下ニ「選舉ニ關シテハ」報告ヲ受ケタル日ヨリ」ノ下ニ「當選ニ關シテハ」同條第二項又ハ第三項ノ申立アリタル日ヨリ」ヲ加ヘ第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前二項ノ場合ニ於テハ府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

第三十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除ク外其ノ被選舉權ノ有無ニ關スル異議ハ府縣參事會之ヲ決定ス

同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十四條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村其ノ組合ノ管理者ハ之ヲ町村長ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

第四十七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第四十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ議長副議長共ニ故障アルトキハ〇年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母祖父母妻子孫兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ府縣會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十五條中「〇選舉ヲ行フトキハ」ノ下ニ本法中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外」ヲ加ヘ「匿名投票」ヲ「無記名投票」ニ改メ「其ノ他ハ」第十

八條第二十七條及第二十八條ノ規定ヲ準用ス」ヲ削リ第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ場合ニ於テハ第十八條及第二十七條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

第一項ノ選舉ニ付テハ府縣會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用ウルコトヲ得

第五十七條ニ左ノ二項ヲ加フ

議員定員ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十八條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ

議員中異議アルトキハ〇會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉

チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第六十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ會議規則ハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六十五條中「八名」ヲ「十名」ニ「六名」ヲ「七名」ニ改ム

第六十六條第三項乃至第五項ヲ左ノ如ク改ム

前二項ノ場合ニ於テハ第十八條第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス
其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中關員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕

ス其ノ順序ハ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナル
トキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ

抽籤ニ依リ仍關員アル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ハ一年トス但シ名譽職參事會員任期

滿了ノ場合ニ於テハ後任者就任ノ前日マテ在任ス

名譽職參事會員ハ後任者就任ノ前日マテ在任ス府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

第七十條中「第四十九條」ノ下ニ「第五十一條第三項第五十五條第五十七條

第一項」ヲ加フ

第七十四條中「第六十六條第三項」ヲ「第六十六條第四項」ニ改ム

第八十二條中「法律命令」ノ下ニ「若ハ會議規則」ヲ加フ

第八十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前

項ノ例ニ依ル

第九十四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

費用辨償額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第九十五條乃至第九十七條中「退職給與金」ノ下ニ「死亡給與金」ヲ加フ

第一百條第一項ヲ左ノ如ク改ム

本法中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料ニ關スル細則ハ府縣會ノ

議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料五圓以下ノ罰則ヲ設クル

コトヲ得

第一百六條中「若ハ使用シ」ヲ「使用シ若ハ占有シ」ニ改メ但書ヲ削ル

第一百七條 納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ

其ノ收入又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業者ハ其ノ收入ニ對シテ

ハ府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在同時ニ府縣ノ内外ニ渉ル者ノ前項以外ノ收入ニ對シ府縣稅ヲ賦

課スルトキハ其ノ收入ヲ各府縣ニ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第八八條 府縣ノ内外ニ渉リ營業所ヲ定メテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對シ

本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係府縣ニ於テ營業稅附加稅所得稅附

加稅又ハ鑛產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ關係府縣知事協議ノ上其ノ歩合

ヲ定ム若シ協議調ハサルトキハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

鑛區又ハ砂鑛區カ府縣ノ内外ニ渉ル場合ニ於テ鑛區稅又ハ砂鑛區稅ノ附

加稅ヲ賦課スルトキハ鑛區又ハ砂鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ本稅額

ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第一百六條第三項乃至第六項ヲ左ノ如ク改ム

前項徵收金ノ先取特權ノ順位ハ國ノ徵收金ニ次クモノトス

府縣ノ收入金及支拂金ニ關スル時效ハ其ノ年度經過後五年ヲ以テ完成ス

但シ府縣債ニ付テハ國債ノ例ニ依ル

第二項ノ場合ニ於テ郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ノ處分ニ不服アル者

ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政

裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ヨリモ亦

訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第一百二十六條中「府縣吏員」ヲ「府縣出納吏及府縣吏員」ニ改ム

第五章ノ二 府縣組合

第二百二十六條ノ二 府縣ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依

リ規約ヲ定メ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣組合ヲ設クルコトヲ得

府縣組合ハ法人トス

第二百二十六條ノ三 府縣組合ノ規約ニハ其ノ名稱組合ヲ組織スル府縣組合

ノ共同事務組合會ノ組織事務ノ管理費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項

ヲ定ムヘシ

府縣組合ノ事務ハ內務大臣ノ指定シタル府縣知事之ヲ管理ス

第二百二十六條ノ四 府縣組合ノ組合府縣數ヲ増減シ共同事務ノ變更ヲ爲シ

其ノ他規約ヲ變更セムトスルトキ又ハ府縣組合ヲ解カムトスルトキハ關

係府縣ノ協議ニ依リ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ財產處分

ヲ要スルトキハ其ノ財產處分ニ付亦同シ

第二百二十六條ノ五 前三條ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二百二十六條ノ六 公益上必要アル場合ニ於テハ内務大臣ハ關係アル府縣會ノ意見ヲ徵シ府縣組合ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ組合規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十六條ノ七 府縣組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外府縣ニ關スル規定ヲ準用ス但シ府縣組合ニハ參事會ヲ置カス其ノ權限ニ屬スヘキ事項ハ組合事務ヲ管理スル府縣知事之ヲ行フ

第二百二十八條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ有恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第二百三十三條中左ノ如ク改ム

三 削除

五 削除

七 削除

第二百三十四條 府縣債ヲ起シ又ハ起債ノ方法利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ第二百三十七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第二百三十九條ノ二 第四十九條及第七十六條ノ規定ニ依ル府縣知事ノ職權ハ東京府ニ在リテハ警視總監亦之ヲ行フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ニ關シテハ次ノ總選舉マテ仍從前ノ規定ニ依ル

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 府縣制中改正法律案ニ付キマシテ、大體ノ趣意ヲ説明イタシテ置キマス、此府縣制ハ先年改正モゴザイマシタガ、其後ノ實驗、實際ニ徵シマスルノニ、多少ノ改正ヲ必要ト認メタルデアリマス、其要點ハ府縣ニ聯合ノ即チ組合ヲ設ケルコトノ規定ガ關ケテ居リマスルカラ之ヲ設ケルコトト、又府縣會役員ノ任期ニ付キマシテ之ヲ改正イタシ、其任期ヲ一年ノ任期ニ改メマスル方ガ今日ノ時期ニ於テ適當ナリト考ヘマシタノト、又其選舉ノ方法モ矢張り他ノ法律ノ斯ノ如キ制度ノモノト權衡ヲ取リマシテ、單記無記名ノ方法ニ依ルト云フコトニ改メル趣意デゴザイマス、大體ハ斯様ナルコトノ改正ニ依リマシテ、數年間府縣會ニ現ハレマシタル所ノ狀態ニ多少ノ改良ヲ加ヘ得ルデアラウト云フコトヲ考ヘマシテ、此改正案ヲ提出イタシタ次第デゴザイマス、何卒御審査ノ上協賛ヲ希望イタシマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ノ特別委員ハ、曩ニ付託セラレマシタ郡制廢止法律案ノ委員ト同一委員デ御異議ハゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ハナイト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 議事日程第四、地方學事通則改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

地方學事通則改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正三年三月十七日

右特別委員長

岡田 良平

貴族院議長公爵德川家達殿

〔特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミナ載録ス小字ハ修正文、――ハ同削除ノ符號〕

第八條 本法中市及其ノ學區ニ關スル規定ハ市町村學校組合及其ノ學區ニ

町村及其ノ學區ニ關スル規定ハ町村學校組合及其ノ學區ニ之ヲ準用ス

第九條 府縣郡ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校圖書館ノ爲基本財産又ハ積立金ヲ設クルコトヲ得
基本財産及積立金ノ管理及處分ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケヘシ

第九條 府縣制郡制市制町村制ニ規定シタル内務大臣ノ職務ハ教育ニ關ス
ル事項ニ付テハ内務大臣及文部大臣ニ屬ス

附則

從前ノ規定ニ依リ設ケタル府縣郡市町村ノ基本財産及積立金ハ府縣制郡制
市制町村制ニ依リ設ケタルモノト看做ス

〔公爵德川慶久君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 德川公爵ハ何デスカ

○公爵德川慶久君 チョット此際申上ゲタイノデアリマスガ、會期モ大分切迫
シテ居リマスノデ、營業稅ノ改正案外數件ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、
退席ヲシテ差支ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○公爵德川慶久君 ソレデハ委員諸君、ドウゾ委員會室ニ御集リヲ願ヒマス

〔岡田良平君演壇ニ登ル〕

○岡田良平君 地方學事通則改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報
告申上ゲマス、特別委員會ハ前後二回ニ互ツテ開會イタシマシテ、政府委員ノ
辯明ヲ求メ、又政府委員ト種々ノ點ニ於テ意見ヲ交換イタシマシテ、慎重ニ
審査ヲ致シマシタノデゴザイマス、政府委員ノ答辯ハ甚ダ明快デゴザイマシ
テ、多クノ質問ニ對シマシテハ満足ナル答ヲ得マシタノデゴザイマス、併ナガ
ラ一二ノ點ニ於キマシテ、特別委員會ニ於テ満足ヲ致兼ヌル點モゴザイマシ
タノデ、遂ニ一二ノ修正ヲ致スト云フコトニ決定イタシタノデゴザイマス、
其大要ヲ御報告申上ゲマス、此法律案ノ要點ハ、先日此席ニ於キマシテ政府
委員カラ説明ノゴザイマシタ通りニ三點ニ歸スルノデゴザイマス、第一ハ從
來町村ノ學區ヲ廢止イタシマスルトキノ規定ハ設ケラレテ居リマスルケレド
モ、併シ此學區ヲ廢スル場合ニ於テ、其財産ヲ如何ニ處分スルカト云フコト
ニ付テハ明瞭ナル規定ガゴザイマセヌノデ、往々差支ヲ生ズルコトガゴザイ
マス、故ニ之ヲ明カニ規定シタイト云フノガ第一點デゴザイマス、第二ハ從
來ノ規定ニ依リマス、町村ノ間ニ於キマシテハ教育事務ヲ御互ニ委任スル

ト云フ規定ガ……委託スルト云フ規定ガゴザイマス、然ルニ市町村ノ間ニ
於キマシテハ教育事務ノ委託ヲスルト云フ規定ガゴザイマセヌノデ、今回新
ニ市町村ノ間ニ於キマシテ、委託關係ノ出來マシヤウナ規定ヲ設クルト云
フノガ第二點デゴザイマス、第三點ハ市町村ノ學校組合ト云フモノハ、
從來ノ規定ニ於テハ設ケテゴザイマセヌノデアリマシタガ、此規定ニ於テハ
市町村ノ間ニ學校組合ヲ設クルコトヲ許スヤウニ致サウト云フノガ是ガ
第三點デゴザイマス、此三點ニ付キマシテハ、特別委員會ニ於テモ何等ノ異
論モゴザイマセヌデ、提案ノ趣旨ヲ全然賛成イタシタノデゴザイマス、唯其
他ノ點ニ付キマシテ稍、微細ナ點デゴザイマスケレドモ、當局者ノ説明ニ聊滿
足ヲ表シ兼ネタコトガゴザイマスノデアリマス、ソレハ第八條デゴザイマス
ガ、第八條ニ「本法中市及其ノ學區ニ關スル規定ハ市町村學校組合及其ノ
學區ニ町村及其ノ學區ニ關スル規定ハ町村學校組合及其ノ學區ニ之ヲ準用
ス」ト云フ規定ガアルノデゴザイマス、即チ本法中ノ此規定ヲバ市町村ノ學
校組合ト其區ニ適用スト云フコトデゴザイマスガ、併ナガラ市町村學校組合
及學區ノ外ニ、マダ此法律ヲドウシテモ適用イタサスケレバナラヌ場合ガア
ルノデゴザイマス、即チソレハドウ云フ場合カト申シマスルト、町村制第百
二十九條ノ第二項ニ依リマシテ、町村事務ノ全部ヲ共同スル爲ニ町村組合ヲ
設ケタ其場合デゴザイマス、即チ甲ノ村ト乙ノ村ガ總テノ事務ヲ共同處理ス
ル爲ニ、一緒ノ組合ニナツタ場合デゴザイマス、此組合ニ於テ學校事務ハ無論
共同處理イタサケレバナラヌノデアリマシテ、サウ云フ場合ニハ此法律ヲ
適用スル必要ガ無論アルノデゴザイマスガ、併シ第八條ノヤウニ「市町村學
校組合」ト「學校」ト云フ二字ガ附テ居リマスルト、此斯ノ如キ組合ハ除外
サレルト云フコトニナツタシマフノデゴザイマス、ソレカラ又學校事務及或ハ
衛生事務トカ、或ハ土木事務トカ、或特定ノ事務ヲ共同處理スル爲ニ組合ヲ
設クル場合モアリ得ルノデゴザイマスガ、是モ學校組合ト名ヲ付ケル譯ニハ
參ラヌノデアリマス、サウ云フ場合ニモ學校組合ト云フ名ガナイ爲ニ此規定
ヲ適用スルコトガ出來ヌト云フ結果ニナリマスカラ、其點ニ於テハ此原案ハ
聊不備ヲ免レヌト云フ委員會ノ考デゴザイマシテ、即チ此原案中ニ學校組合
トゴザイマスル、此「學校」ノ二字ヲバ削ルコトニ致シマシタノデゴザイマ
ス、「學校組合」ト云フ字ハ此第八條中ニ二箇所ゴザイマスガ、此二箇所トモ
「學校」ト云フ字ヲ削リマシテ、唯「市町村組合」「町村組合」、斯ウ云フコトニ

變更イタスベキデアラウト云フ、特別委員會ハ決定ヲ致シタノデゴザイマス、ソレカラ今一箇所、此原案ニ於キマシテハ……現行法ニ於テハ府縣郡市町村及學校ノ圖書館ノ爲ニ基本財産又ハ積立金ヲ設クルコトガ出來ル規定ニナッテ居リマスガ、此改正案ニ於テハソレガ全部削ラレテ居リマスノデアリマス、其理由ヲ政府委員ノ説明ヲ求メマシタ所ガ、政府委員ノ答ハ、府縣制ニ於テモ郡制ニ於テモ「積立金穀等ヲ設クルコトヲ得」ト云フ規定ガゴザイマスノデ、又市制町村制ニ於キマシテハ、特定ノ目的ノ爲ニ特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立テルコトヲ得ルト云フ規定ガゴザイマスカラ、此地方學事通則ニ於テ特別ニ規定ヲ設クルノ必要ハナイト云フ考ニ依テ現行法ノ規定ヲ削除シタ、斯ウ云フ説明デゴザイマス、然ル所、此府縣並ニ郡ヲ設ケマスル所ノモノハ、謂ハユル積立金穀デゴザイマシテ、即チ基本財産トハ性質ヲ異ニシテ居ルモノデゴザイマス、基本財産ハ申スマデモナク、其財産ヲ積立テ置キマシテ、其收益ヲ以テ必要ナル費用ニ充テテ參ルト云フノガ目的デアリマシテ、即チ元本ト云フモノハ消費セザルヲ以テ目的トシテ居ルノデゴザイマス、然ルニ府縣郡ニ於テ積立テルコトノ出來マス金穀ト云フモノハ、サウ云フ性質デハナクシテ、必要ノ場合ニハ之ヲ消費スルト云フコトヲ目的トシテ積立テルモノデゴザイマスカラ、決シテ基本財産ト同一ニ致スコトハ出來マセヌノデゴザイマス、ノミナラズ此府縣郡ノ積立金穀ニ對シマシテハ之ヲ管理スル方法等ニ付テ、郡ノ場合ニ於テハ知事ノ許可ヲ受ケルト云フコトガゴザイマスクレドモ、縣ノ場合ニ於テハ許可ヲ受ケルト云フ規定モゴザイマセヌカラ、折角設ケタ所ノモノヲバ消費スルノガ誠ニ容易ニナッテ居ルノデ、基本財産ヲ設ケタイト云フ精神トハ一致スルコトガ出來マセヌノデゴザイマス、市町村ノ場合ニ於キマシテハ十分ニ規定ガゴザイマスルカラシテ、是ハ此學事通則ニ依テ規定スルノ必要ハゴザイマセヌガ、府縣ト郡ノ場合ハ唯今申シマスルヤウナ譯デ、「積立金穀等ヲ設クルコトヲ得」ト云フ規定ダケデハ、基本財産ヲ設ケルト云フ現在ノ規定ノ精神ト大變ニ齟齬イタシテ居リマスルノミナラズ、從來文部省ガ努メテ基本財産ノ積立ヲ獎勵イタシ、又府縣ニ於テモ尠カラズ基本財産ヲ所有シテ居ルニ拘ラズ、其規定ヲ廢シテ府縣制郡制ノ規定ニ依テ之ヲ積立金穀ト致シマスルコトハ、教育ノ基礎ヲ鞏固ニ致スト云フ目的カラシテ甚ダ面白クナイ、斯ウ云フ考デアリマシテ、即チ一箇條ヲ追加イタスコトニ致シマシタノデゴザイマス、即チ第八條ノ次ニ第九

條ト致シマシテ「府縣郡ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校圖書館ノ爲基本財産又ハ積立金ヲ設クルコトヲ得」ソレカラ次ノ第二項ニ「基本財産及積立金ノ管理及處分ハ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ」、斯ウ云フ箇條ヲ一箇條加ヘマシテ、從ッテ此案ノ第九條ヲ第十條ト改ム、斯ウ云フコトニ致シタ方ガ宜シカラウト云フコトニ委員會デハ決定ヲ致シタノデアリマス、即チ其結果ト致シマシテ、一番末尾ノ一項ニ「府縣郡市町村ノ基本財産及積立金ハ府縣制郡制市町村制ニ依リ設ケタルモノト看做ス」トアリマスル所ノ「府縣郡」ト云フ三字ヲ削リ、ソレカラ下ノ「府縣制郡制」ノ五字ヲ削ル、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタノデゴザイマス、ソレカラ此案ニ付キマシテハ衆議院ニ於テモ修正ヲ加ヘタ點ガゴザイマス、即チ此文字ノ間ニ點ガゴザイマス、「ボツ」ガ……「コンマ」ガゴザイマスノヲ、ソレヲ衆議院ニ於テハ削除イタシマシタガ、此事ニ付テハ同意ヲ委員會ニ於テハ致シタノデゴザイマス、ソレカラ第七條ニ「市制町村制ニ對シ」ト云フ字ガゴザイマスガ、之ヲ衆議院デハ削除ヲ致シマシタガ、是モ亦相當ノ修正ト認メタノデゴザイマス、デ特別委員會ノ結果ハ右御報告申ス通りデゴザイマス、何卒御賛成ヲ願ヒタイト考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ政府委員ノ意見モ聞キマシタガ、政府ニ於テモ此修正ニ對シテ全然同意ヲ表スルト申スコトデゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガナイト認メマスカラ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数ト認メマス

○岡田良平君 本案ハ直チニ第二讀會ヲ御開ニナルコトヲ希望イタシマス

○一木喜徳郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ノ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ岡田君ノ說

ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ハナイト認メマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シ

マス……特別委員長ノ報告通りテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ガナイト認メマス

○岡田眞平君 直チニ第三讀會ヲ御開キニナルヤウニ願ヒマス

○一木喜徳郎君 賛成

○子爵松平乘長君 賛成

「其他」賛成「ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ岡田君ノ説ニ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ハナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りテ御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第五、治安警察法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

治安警察法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正三年三月十四日

衆議院議長長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

治安警察法中左ノ通改正ス

第二條第四項中「選舉權ヲ行フヘキ者及被選舉權ヲ有スル者ニ限リ」ヲ削リ「前五十日間」ヲ「前三十日間」ニ改ム

第四條中「十二時間」ヲ「六時間」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

前項届出ノ時間ハ地方ノ狀況ニ依リ必要アルトキハ命令ヲ以テ十二時間迄ノ範圍ニ於テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得

第五條第四號中「教員」ノ下ニ「(帝國大學及專門學校令ニ依ル學校ノ教員ヲ

除ク)ヲ加フ

○副議長(侯爵黒田長成君) 本案ノ委員ハ前ニ委員ニ付託セラレマシタ質屋取締法中改正法律案ノ委員ト同一デ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第六、農工銀行法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

農工銀行法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正三年三月十四日

衆議院議長長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

農工銀行法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ株式金額ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ五十圓迄ニ上スコトヲ得

第四條 農工銀行ノ取締役及監査役ハ農工銀行ノ營業區域内ニ住所ヲ有ス

ルコトヲ要ス

第五條中「府縣郡市町村」ノ下ニ「及市制第六條ノ規定ニ依リ指定セラレタル市ノ區」ヲ加フ

○副議長(侯爵黒田長成君) 本案ハ前ニ委員ニ付託セラレマシタ日本勸業銀行法中改正法律案ト同一委員デ御異存ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第七、土地收用法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

土地收用法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十七日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長

谷森 眞男

〔谷森眞男君演壇ニ登ル〕

〔議長公爵德川家達君議長席ニ著ク〕

○谷森眞男君 本案ノ特別委員會ノ經過結果ヲ御報告イタシマス、本案ニ付キマシテハ委員會ハ三回開キマシタ、本案ハ衆議院ノ提出案ニ係ルモノデゴザイマスルガ、政府ニ於キマシテモ同意ヲ表セラレテ居リマシテ、委員會ニ於キマシテハ種々質問應答ガアリマシタ、デ本案ノ大要ヲ申上ゲマス、近頃此索道ナルモノガ段々發達イタシテ參リマシタ、此索道モ現今ニ於キマシテ既ニ出來テ居リマスルモノガ百二十箇所モアリマス、又目下架設中ノモノモ八箇所バカリアリマス、ソレカラ目下經畫中ノモノモ十八箇所アルト云フヤウナコトデゴザイマス、サウ云フヤウナ次第デゴザイマシテ、往々土地ノ收用ガ出來マセスト、色々起工者ノ間ニ差支ガ起ル事情ガゴザリマシテ、ソレニ收用ノ出來ルヤウニ致シタイト云フコトノ爲ニ、此「索道」ノ文字ヲ加ヘ、又市場謂ハユル「イチバ」、是モ今日ハマダ我國ニハ公設ノ市場ハ餘リゴザイマセスガ、追々其必要ヲ見ル次第デゴザイマスカラ是モ「市場」ト云フ字ヲ一ツ加ヘマシテ、サウ致シマシテ「電氣機」「瓦斯燈」ナドト云フ字ガゴザリマス所ガ、是モ甚ダ文字ガ狹イニ付キマシテ差支ヘマスカラ、是モ「電氣裝置」「瓦斯裝置」ト云フヤウナ文字ニ修正ヲ致シマスルノデゴザイマス、ソレデ土地收用法ノ第二條ヲ讀ンデ見マスルト斯様ニナリマス、第二條、「土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス」、サウシテ一號、二號、三號、四號、五號トゴザイマス、其四號ハ「鐵道、軌道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、電氣機、瓦斯燈又ハ火葬場ニ關スル事業」斯ウアリマス、此「鐵道、軌道」ノ後ヘ「索道」ノ文字ヲ加ヘマス、ソレカラ「水道、下水」ノ後ヘ「市場」ト云フ二字ヲ加ヘマシテ、電氣機、瓦斯燈「電氣裝置、瓦斯裝置」ト致シマス、斯様ニ修正デアリマス、ソレカラ又此第十五條ニ但書ヲ加フルト云フコトハ、是ハ五十五條ハ土地ノ使用ガ三箇年以テ上ニモ互リマスルトキニハ、其土地所有者ガ土地ノ收用ヲ請求スルコトガ出來ルト云フ箇條デアリマス、然ルニ此空間ヲ使用スル場合ニ於キマシテ、

其土地ノ使用ヲ妨ゲマセヌヤウナ時ニハ、必ズ其土地ノ收用ヲ請求スルコトガ出來ナイト云フ取除ノ法ヲ設ケマスル爲ニ、茲ニ但書ヲ加ヘルト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ審議ノ上、是ハ必要ノ改正ト認メマシテ、本案ハ可決スベキモノナリト決シマシタ次第デゴザリマス、此段ヲ御報告イタシマス、終ニ臨ミマシテ、本案ハ甚ダ簡明ナ案デゴザリマスカラ、議會ヲ省略セラレテ可決セラレムコトヲ希望イタシマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○一木喜徳郎君 本員ハチヨット質問イタシタイ

○議長(公爵德川家達君) 委員長ニ質問デスカ

○一木喜徳郎君 イヤ、政府委員ニ……

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○一木喜徳郎君 此索道ノ爲ニ收用法ヲ適用スルト云フコトハ、今日其必要ナルコトト考ヘテ居リマス、唯索道ノ取締ニ付キマシテ、現今如何ナル規定ガアルカ、其事ヲ承知イタシタイノデアリマス、索道ニハ多少ノ危險ガ伴フト云フコトハ離ルベカラザルコトデアラウト思フ、即チ索道ノ下ニアリマスル所ノ土地ニ對シテ、多少ノ危險ヲ及ボスコトガアルダラウ、ソレカラ運搬スル所ノ貨物ガ墜落スルトカ、或ハ其他ノ危險ガ多少伴ッテ居ルダラウト思フ、從來トテモ其規定ハ素ヨリアリマスルケレドモ、土地ヲ收用スルト云フ規定ノナイ場合ニ於キマシテハ、土地ノ所有者ハ多少ノ危險ガアリマシテモ、索道ノ起業者ト協議ノ上デ、土地ヲ使用セシムルノデアリマスカラシテ、幾ラカ其苦痛ヲ忍ブコトガ出來ルデアラウ、然ルニ收用法マデモ適用シテ索道ヲ架設スルト云フニ付キマシテハ、今ヨリモ一層危險ノ取締ヲスルノ必要ガアリハセヌカト考ヘテ居リマス、ソレデ其取締ニ付キマシテ現今何カ相當ノ規定ヲ設ケラレルノ御見込ガアリマスルカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 一木君ノ御問ニ御答イタシマス、索道ハ近年其數ヲ増シテ參リマシタ、各府縣ニ於テモ追々出來ツツアルノデアリマス、ソレガ爲ニ收用法ヲ適用スル必要ヲ認メタルコトデアリマスルガ、此取締ニ付キマシテハ、唯今一木君ノ御述ニナリマシタ通り、相當ノ取締ノ必要ノアルコトヲ認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ今日マデハ各府縣ニ於キマシテ必要ニ應ジテ取締規則ヲ設ケテ居ル、其取締規則ヲ設ケテ居リマスル所ガ二十

縣近クモアリマスガ、今日デハ府縣令ヲ以テ詳細ナル取締規則ヲ設ケツツアルノデアリマス、併ナガラズノ如ク索道ガ發達シ來リマスル以上ハ、獨リ府縣令ヲ以テ足レリトシマセヌノデ、是カラノ實況ヲ調査イタシマシタ上ニ、内務省ニ於テ統一的规定ヲ設ケテ是ガ取締ヲナサムコトヲ今考ヘツツアルノデゴザイマス、何レハ早晚斯ノ如キ規定ヲ設ケルコトニナツテ居リマス、今日ノ實況ト致シマシテハ各府縣デ府縣令ヲ以テ取締ツツアルト云フ實況デゴザイマス

○一木喜徳郎君 唯今ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマスレバ、政府ニ於テモ一般ノ取締法ニ付テ考案中デアルト云フコトデアリマスルカラ、本員ハ成ルベク速ニ斯ノ如キ取締法ヲ設ケラレタイト云フ希望ヲ以テ本案ニ賛成イタシマス

○江木千之君 讀會省略ニ賛成

○子爵野村益三君 賛成

○子爵豐岡圭資君 賛成

○男爵眞田幸世君 賛成

○男爵辻新次君 賛成

○三宅秀君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○男爵北島齊孝君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○男爵眞鍋斌君 賛成

○下條正雄君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 谷森君ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認ノマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第八、盲人保護法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

盲人保護法案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正三年三月十七日

右特別委員長

伯爵松浦 厚

貴族院議長公爵德川家達殿

「伯爵松浦厚君演壇ニ登ル」

○伯爵松浦厚君 盲人保護法案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、此法案ハ至ツテ簡單ナモノデアツテ、大シテ議論ヲ要セザル、研究ヲ要セザルモノト考ヘテ居リマシタ所ガ、此問題ニ付キマシテハ色々御説ガアリマシテ、歸スル所、如何ニシテ此法案ガ衆議院カラ貴族院ニ廻ッテ參ツタカト云フコトマデモ疑フヤウナ次第デアリマス、從ツテ此法案ハ政府委員ノ詳細ナル統計的其他ノ説明ニ依リマシテ、明カニ盲人保護ト云フコトハ既ニ至レリ盡セリデアルカラシテ、此法案ヲ今日新ニ設ケル必要ハナイト云フコトノ説明ガアリマシタ、又委員會中ニハ其向ニ委シキ方、ガ居ラレマシテ、同ジク此法案ヲ設ケルニ及バスト云フ說ニ一致イタシマシテ、決定シタル次第デアリマス、即チ否決シタ次第デアリマス、抑、御承知アラセラルル通り、此按摩術ノコトニ付キマシテハ、四十四年ノ八月ニ内務省令ヲ以テ布達ニナリマシタ通り、特ニ盲人ニ對シテハ保護ヲサレテ居ルノデアリマシテ、學校若クハ講習所等ニ就イテ卒業シテ居ル所ノ盲人ニハ、地方長官ノ檢定ヲ以テ按摩ノ免許鑑札ナドヲ與ヘルト云フ所ノ例モアリマスシ、又特ニ試験ノ法モ兩様ニ設ケラレテアリマスルガ、其試験ニ於キマシテモ、生眼者ノ試験ハムヅカシクアリマスヤウニ見エマスケレドモ、盲人ニ對シテハ特ニ輕ク設ケラレテ居ツテ、容易ニ其試験モ通過シ得ルヤウニアル、又盲人ハ二箇年ノ實地研究ヲヤツテ居ル者ハ試験ヲ受クルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルシ、又生眼者ハ四年間修メタル者デナケレバ試験ヲ受クルコトガ出來ヌト云フヤウナ差別モ付ケテアリマシテ、自ラ生眼者ト盲人トノ間ニ付テハ大ナル差別ヲ付ケテ保護シテ居ル次第デアリマス、又結果トシテ如何ナル結果ガ現ハレテ居ルカト申シマスレバ、大正

元年ノ統計ニ依リマスルト、此甲種ノ試験ヲ受ケタル所ノ盲人ハ四十人アリマシテ、其中カラシテ二十人及第シテ居ル、生眼者ハ三百六十四人アリマシテ、其中カラ九十八人探ラレテ居ル、此統計ヲ見マシテモ、確カニ生眼者ノ方ガ比較の少數ヲ舉ゲラレテ居ル、盲人ノ方ガ多イト云フコトガ知レマス、又乙種ノ方ハ如何デアアルカト申セバ、四百七十五名ノ中デ二百二十五名ガ舉ゲラレテ居リマス、ソレニ依テ見テモ、盲人ガ多ク乙種デ舉ゲラレテ、按摩業ヲ營ンデ居ルト云フ次第デアリマス、之ヲ以テ之ヲ考ヘマスルニ、ドウシテモ此盲人ハ多ク按摩業ニ就クト云フコトノ便ヲ得マシテ居ルト云フコトハ疑ハザル事實デアラウト考ヘマス、又特ニ此學校ト申スモノガ國中ニ二十三箇所造ラレテアリマスカラ、十分ニ此盲人ヲ、特ニ盲人ダケヲ保護スルコトニモナッテ居リマス、此以上ニモ盲人ダケニ特別ニ保護シナケレバナラヌト云フ所ノコトハアルマイカノヤウニ考ヘラレマス、加之ナラズ、今日人文ノ進歩ト共ニ、醫術上發達ヲ來シマスニ付キマシテハ、唯前ニ田舎デ揉療ヲスルト云フダケガ、即チ按摩術デハナイト云フコトハ、諸君モ御承知ノ通りデアリマシテ、此「マッサージ」ナドヲ營ムモノハ、即チ此「マッサージ」モ此按摩術ニ含ンデ見ラレマスガ、之ヲ致ス所ノ按摩ニアリマシテハ、雷ニ此筋肉ノ間ヲ揉ムダケデハ濟マスノデアッテ、是ハ餘程學術モ必要デアリマセウシ、又經驗其他外面カラ其局部ノ痛ンデ居ル所ヲ見ネバナラヌト云フ點モアリマス即チ整形外科カ、或ハ畸形トカ、或ハ挫骨神經痛トカ云フモノニ於キマシテハ、之ヲ療治イタスニ付テハ、雷ニ盲人ガ手探リデ按摩イタストハ違ヒマシテ、其局部ノ苦痛ヲ感ジテ居ル所ヲ外部カラ見ルト云フ必要モアルシ、又ザット之ヲ揉ンデ、其骨肉ノ痛ンデ居ル所ヲ實地ニ伸縮サセ、病人ノ様子ヲ見マシテ更ニ又之ヲ療治シナケレバナラヌト云フ所ノ必要モアル、是ハドウシテモ今日ノ盲人ノミニ此按摩術ヲ止メルト云フコトハムヅカシイ、所ガ多數ノ委員ノ意見デモアリマスシ、又政府委員ニ於カレマシテモ其意見デアリマシテ、此案ハドウシテモ今通過スベカラザルモノデアルト云フコトニ、委員一同決定イタシタ譯デアリマス、又之ニ加ヘテ一言イタシタイコトハ、御承知モアラセラレマス通り、如何ニシテ舊來ハ盲人ガ多クカッタ申スコトハ、即チ我國ノ醫學ガ進歩シナカッタ結果デアアル、今日ハ醫學ノ上ニ於テモ十分ナル進歩發達ヲ來シマシタ以上ハ、即チ種痘ノコトトカ、其他惡病ノコトト云フコトニ付テモ、十分ニ豫メ之ヲ防ギ得ルノデアアル、付イテハ盲人ノ數ト云

フモノハ、年々歳々數ヲ減ズルト云フコトニナル次第デアリマスカラ、今日此盲人ノミヲ保護シテ、按摩術ヲ盲人ニ限ルト云フヤウナル狭イコトニ致シテ參ッタナラバ、即チ盲人以外ニ此按摩ヲ必要トスル上ニ付テ、需要供給ノ不足ヲ來スト云フ憂ヒモアリマスカラ、旁、以テ今日此按摩術ヲ盲人ニ限ラヌト云フコトニ致シタ方ガ宜カラウト考ヘマス、チヨット念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、此人口ノ中ノ凡ソ十三人ト云フヤウナ比例ニ今盲人ノ數ガナッテ居リマシテ、其十三人ノ中ニ四人マデモ按摩術ヲヤッテ居ルト云フ次第デアリマス、然ラバ十分ニ盲人ガ保護サレテ居ルト云フコトハ、實際ノ統計ニ於テ明カナコトデアラウト考ヘマス、其他國中ニ於キマシテ雷ニ此盲人ノ按摩ノミナラズ、歌舞音曲其他種々ノコトノ營業ヲ致シテ居ル者ガ澤山アルノデ、其統計モゴザイマスケレドモ、今日ソレマデモ詳シク申上ゲルニ及ブマイト考ヘマスカラ、ソレハ申上ゲマセスガ、盲人ノ保護ト云フモノハ十分ニ政府ニ於テモ保護サレテ居ル、尙此以上ニモ保護サレルト云フ精神ガアルヤウニ認メマシタカラ、委員ハ一同此案ヲ否決スルコトガ當リ前ノコトデアラウト考ヘマシテ、慎重審議ノ結果、否決スルコトニ致シマシタカラ、ドウゾ諸君モ此否決ニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○三宅秀君 唯今特別委員長カラ詳細ナル御報告ガゴザイマシタ、本員ハ決シテ之ニ對シテ異議ヲ有ッテ居ル次第ハゴザイマセスガ、政府當局ニ於テ十分此保護ガ行届イテ居ルト云フコトヲ、今日此公開ノ場デ一言イタサレタイト存ジマス、本員ガ數年請願委員デ居リマシタ頃ニ、毎年ノヤウニ按摩ヲ盲人ノ專業ニシテ吳レト云フ請願ガ、ウルサク出テ參リマス、本院デハ何時デモ不採擇ニナッテ居リマスガ、遂ニ當年ハ是ガ法律ニナッテ本院マデ廻ッテ來ルト云フヤウナコトデアッテ見マスルト、全部ノ盲人、按摩、日本全國ニ在リマス所ノ全部ノ按摩ガ、悉ク不滿ヲ懷イテ居ル譯デハゴザイマスマイガ、其中ニハ多少保護ガアルト云フコトヲ承知シテ居ル輩モアラウト思ヒマス、ケレドモ細民ノ中ニ不滿ノ心ヲ懷カセテ置キマスノハ甚ダ氣ノ毒ニ思ヒマスカラ、十分保護ノ届イテ居ルト云フコトヲ政府當局カラ此席デ御辯明アラムコトヲ希望スルノデアリマス、何故ニ本員ガ之ヲ請求イタシマスカナラバ、請願ヲ出シマスマデニモ餘程運動ヲスルモノラシウゴザイマス、是ガ法律案ニナッテ出テ參リマスカラ、其通過ヲ祈ル爲ニ運動ハ激シイヤウニ聞及ンデ居リマス、デ非常ナル時間ヲ費シ、又乏シイ私財ヲ抛ッテ其運動ナドニ使ヒマス、

是ガ抑、氣ノ毒ニ思ヒマスカラシテ、ドウゾ此所デ此法案ノ息ノ根ヲ止メテシマヒマスレバ、ドウシテモ是ハ出来ナイモノト云フ思切リガ付キマス、其止メヲ刺シマスノニハ政府カラ十分ニ是ハ否決スベキモノダト云フ道理ヲ御示下サラムコトヲ希望スルノデアリマス、サウ致シマスレバ、是モ盲人保護ノ一端ニナラウト思ヒマス、ムダナ時ヲ費シ、ムダナ費用ヲ費シテ運動ヲシテ居ルヨリハ、寧ロ茲デ止メテ刺シテ、サウシテ宜シク是ハ運動シテモダメダト云フコトヲ知ラス方ガ、盲人保護ノ一端デアラウト思ヒマスカラ、ドウゾ委シク願ヒマス

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 三宅サンノ御問ニ御答ヲ致シマス、政府モ盲人ヲ保護スルト云フコトニハ決シテ客ナルノデハナイノデアリマス、盲人ニ付キマシテハ同情ヲ表シテ居リマシテ、成ルベク是ニハ相當ノ職業ヲ與ヘ、慰安ノ途ヲ講ジタイト云フコトハ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、唯此法案ハ盲人ノミニ按摩業ヲ……盲人ノミニ專業タラシメスト云フコトヲ原則トシテ居リマス故ニ、此趣旨ニ於キマシテ政府ニ於テ賛成スルコトヲ得ザルコトヲ遺憾トスルノデアリマス、之ニ付キマシテハ先キ程特別委員長タル松浦伯爵カラ極メテ詳細ノ御説明ガアリマシタ如ク、政府ニ於キマシテモ盲人ニ付キマシテハ常ニ留意イタシマシテ、相當保護ノ途ハ立テツツアルト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ度々兩院ニモ請願ガアリマシタカラ、其請願ノ趣旨ニ基キマシテ、明治四十四年八月ニ内務省令ヲ以テ盲人ニ關スル特殊ノ保護法ヲ規定シタノデアリマス、即チ其法律ニ……其省令ハ針灸術ニ關スル規定デアリマスガ、是ハ其規定ニ依リマスレバ、盲人ノ生眼者ニ比シテ保護ヲ受ケテ居ルト云フコトノ特ニ厚イコトガ分ルノデアリマス、其規則ニ依リマス、針灸術ヲ營ミマスノニハ試験ヲ受ケルカ、若クハ地方長官ノ指定シタル學校デ相當ノ修業ヲ爲シ、其卒業證書ヲ有スル者ト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマスカラ、之ニ依リマシテ、地方長官ガ今日指定シテ居ル學校ハ盲學校ノミナノデアリマス、而シテ其數ハ現在二十三校ニ達シテ居ルノデアリマス、生眼者ノ學校ニシテ指定ヲ受ケタモノハ未ダ一校モナイト云フ實況デアリマス、即チ之ニ依リマシテモ如何ニ盲人ニ厚キカト云フコトノ一端ヲ見ルコトガ出来ルデアラウト思ヒマス、又此規則ニ依リマスレバ、御承知ノ御方モアラウト思ヒマスガ、甲種試験、乙種試験トニ岐レテ居リマスガ、甲種試験ハ

盲人タルト生眼者タルト問ハズ、四箇年以上、按摩術ヲ修業シタ者デナケレバ之ヲ受クルコトヲ得ナイ規定ニナツテ居リマス、併シ實際ニ於キマシテハ斯ノ如ク四箇年以上、按摩術ヲ修業シタルコトヲ條件ト致シテ居リマスガ生眼者ノ受験者ハ極メテ少イノデアリマス、而シテ實際ニ於キマシテハ、盲人按摩ト云フ者ハ近年皆此規定ニ依リマシテ無試験デ、指定學校カラ容易ニ出ルト云フ保護ヲ有ツテ居リマスカラ、多ク此恩惠ノ下ニ盲人按摩ハ其業ヲ營ミツツアルモノデアリマス、又之ニ加フルニ乙種試験ナル制度ヲ設ケテアル、ソレニ依リマスレバ、二箇年以上修業ノ履歴アル者ハ簡易試験ヲ行ウテ免許ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、即チ是ハ特ニ盲人ノ爲ニ此制度ヲ設ケテ居ルノデアリマスカラ、盲人ハ之ニ依テ針灸術ノ免許ヲ特別ノ恩典ノ下ニ受ケテ居ルト云フコトモ分ルノデアリマス、尙之ニ止ラズ、地方ノ狀況ニ依リマスレバ盲人ニ限ツテ單ニ其履歴ノミヲ審查シテ、無試験デ免許ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラシテ、同ジク按摩業若クハ針灸術業ヲ營ム者ニ致シマシテモ、生眼者ニ對シテヨリモ盲人ニ對シテハ特殊ノ恩典ヲ與ヘツツアルト云フコトハ分ルノデアリマス、ソレカラ又積極的ニ致シテハ、先キ程委員長カラ御述ニナリマシタ通り、整形外科等、其他ノ醫療上必要ナ治療ヲ爲スモノハ、是ハ無論盲人ノミヲ以テ足レリトハ致シマセスカラ、是ハ生眼者ニモ許スコトニナラヌケレバナラス、是ハ國民衛生上、已ムヲ得スコトト思ヒマス、其事ヲ除キマシテハ成ルベク盲人ト云フモノモ特殊ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトハ必要デアル、特殊ノ保護ヲ與ヘルト云フコトガ利益デアルト考ヘマシテ、唯今申シマシタル如キ規定ノ下ニ盲人ヲ保護シツツアルト云フ次第デアリマス、左様ナル次第デアリマスカラ、唯今三宅サンノ御問ニ對シテモ、政府ハ決シテ盲人ノ保護ニ吝デナイト云フコトヲ御了解下サルコトヲ得ルト存ズルノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ナシト認メマス、故ニ本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 明後二十日ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以

テ御報告イタシマス、本日ハ是デ散會イタシマス
午前十一時九分散會